



一人ひとりが輝く日本へ

小林 きょう子

2013参院選 茨城選挙区

日本共産党

Japanese Communist Party



だから私は、日本共産党——小林きょう子

みんなの声で動かす

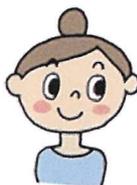
日本共産党は、国民のみなさんと力をあわせ、32万人の
党員、2万をこえる党支部、2700人をこす地方議員が、
草の根から政治を動かしています。

しんぶん赤旗購読料や募金、党費など自前の財政で活動し、
政党助成金は受け取りを拒否。企業・団体献金ももらいません。



新しい政治をめざす

日本共産党は、ゆきづまった古い政治を正し、新しい日本をめざす
改革ビジョン— 党の「綱領」をもっています。綱領も持たない政党や、
選挙のためにくつついたりはなれたりを繰り返す政党に、日本の将来を
たくすことはできません。



平和とくらしを守る

反戦平和をつらぬき、国民の苦難軽減へ—日本共産党の90
年の歴史です。憲法9条を生かす平和外交で世界に貢献する日
本をめざし、国民の命とくらしを守るために、スジを通す政党です。



日本の政治には、いま スジを通す党が必要です。



原発ゼロ

健康調査の実施
自然エネルギーへ



景気回復

消費税増税中止
国民所得を増やす



憲法守る

海外で戦争する
国づくりを許さない



TPP反対

主権を尊重した
平等の経済関係を



若者雇用

正社員を増やす
最低賃金アップ



子育て・老後

保育所待機児ゼロ
最低保障年金制度

参院選 比例代表は 日本共産党

政党助成金も企業献金も
受けない日本共産党。
募金にご協力ください。

茨城民報

2013年号外 日本共産党の見解を紹介します。
発行：日本共産党茨城県委員会 TEL：029-247-6523

参議院選挙の制度解説

選挙区は
候補者名で



比例代表は
政党名で

政党名でも
個人名でも
投票できます。
(記載例)



参議院比例代表

(北関東・東北・北海道)

紙 智子 かみ ともこ

参議院議員2期、党農林・漁民局長



仕事、活動、子育て、介護—
女性が自立するためのハードルを
何度も乗り越えてきました。
つらいことがあっても、
ひとつひとつ創っていく仕事は
毎日感動することが多くて楽しい。
前進することが好きだから—。



2012年の夏、自然エネルギーを学びにドイツ、スイスを視察。スイスで産直農家の子どもと。

草の根の 声を力に 提案、行動する人。

「あなたは宝」

「もう農業やめようか」ともらす農家に、「あなたは宝なんです」と言葉をかけ、生産者と消費者を結ぶ農民組合の事務局長として24年。安全な野菜や米を食べたいという消費者の声にこたえて、農産物の産直や遺伝子組み換えではない大豆の自給率を高める「大豆畑トラスト運動」を全国に先駆けて実践し、各地に広げてきました。



産直活動のキャンペーン



茨城農民連書記長
村田 深さん

困っている人の立場にとことん立って、解決のために次々にアイデアを出し、意見の違いがあっても一致点で人の力を集め、誰もやったことがないことを実現してきた小林さん。まちがいなく、みんなの力になる人です。

農家と共同のエネルギーづくり

「原発いらない」、「子どもの健康守れ」との声は、党派を超えた県民多数の願いとなっています。その声をまっすぐ届けられるのが小林きょう子さんです。

エネルギーも安心安全な地産地消をめざし、昨夏、ドイツ、スイスで再生可能エネルギーを視察。それを生かし農家と共同の太陽光発電事業に動き出しています。



被災地への支援活動
(福島県いわき市)



東海村在住
2人の子の母親
吉田千恵さん

心配なのは福島原発事故で受けた初期被ばくの影響です。東海村や牛久市、龍ヶ崎市で、健康調査や検査費補助をすすめています。全県の子ども達に甲状腺検査を実施してほしい。党と候補者で公約が違う政党もあるけれど、共産党はみーんな原発ゼロ/信頼しています。

今こそ女性が輝く社会に

小林さんの父親は満州から孤児を連れて日本に引き揚げ、「あの戦争はまちがっていた」と平和の大切さを語り育てました。小林さんは反戦平和、女性の地位向上をめざす運動を通じて、30歳で日本共産党に。

いじめ、放射能汚染、若者の非正規雇用、高齢者の孤独死、改憲—社会のゆがみを正して頑張ります。



放射能被害の全面賠償を求めよう小林さん
(東京電力本社前)



新日本婦人の会
茨城県本部副会長
間宮孝子さん

日本では子育ても介護もまだまだ女性の肩にかかっています。働く女性の半分は非正規で、その多くが不安定・低賃金。それが老後の年金額に直結します。女性を応援してくれるあたたかい政治を期待します。

プロフィール

1950年鹿児島県生まれ。鹿児島女子短期大学卒業。マックスファクター(現在SKII)に勤務。1988年から県南農民組合事務局長。全国農民連常任委員・女性部副部長。2012年衆院選に茨城3区から初挑戦。趣味はカメラ、小旅行。現在、龍ヶ崎市在住。好きな言葉は、チャップリンの「人生は素晴らしい。大事なことは、勇気と想像力を持つこと。」